

嶺南地域公共交通計画策定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之			
事業主体	嶺南地域公共交通活性化協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	負担金									□ 法定受託事務			□ 補助金	経過年数
補助率	—									■ その他			5 年	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[嶺南地域公共交通網形成計画]							
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域の公共交通の活性化を図るとともに、新幹線開業により嶺南地域における人やモノの交流が拡大することから、小浜線やバスなど嶺南地域の二次交通の充実を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] JR小浜線の年間利用者数 H30 : 1,557千人 → R4 : 1,326千人 バス・乗合タクシー等の年間利用者数 H30 : 862千人 → R4 : 747千人								
[事業目的] 令和2年3月に策定した「嶺南地域公共交通網形成計画」について、令和6年度末で計画期間が満了となるため、国の計画や社会情勢の変化を踏まえた令和7年度からの「嶺南地域公共交通計画」を策定し、令和7年度以降の小浜線および広域路線バスの利活用促進、魅力向上、接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。														
[事業内容] (1) 嶺南地域公共交通計画の策定(策定期間 令和7年3月) ・ 県、嶺南6市町、舞鶴市、交通事業者等から成る協議会による現況、課題の整理 ・ 嶺南圏域の公共交通の現況、利用実態調査、住民意識調査等の実施 (2) 嶺南地域公共交通活性化協議会の運営 ・ 計画策定に向けた議論を行うため、県・嶺南6市町・交通事業者等で構成する協議会を運営														
[受益者] 小浜線、バス等の利用者						[想定される受益者数] 249万7千人								
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 嶺南地域における地域公共交通網形成計画策定にかかる調査事業 (実績) 嶺南地域公共交通網形成計画を策定				関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 (役割分担) 小浜線各駅利用環境整備支援事業、嶺南地域公共交通充実支援事業								
市町との連携状況	計画を推進する協議会の構成員に嶺南6市町が参加				他県の状況	JR線を軸として計画を策定している他県の例 富山県：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画(H29.3月策定) 京都府：JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域交通網形成計画(H29.3策定)								

嶺南地域公共交通計画策定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	嶺南地域公共交通活性化協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								経過年数	5 年		
補助率	—								□ 法定受託事務	■ その他		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,821					3,821						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		45	40	40	40	3,821	・嶺南地域公共交通計画の策定に向けた県民アンケートの実施、協議会の設置・運営費の増					
2月現計予算額の推移		45	40	40	40							
決算額の推移		45	40	40								
前年度までの主な増減理由	R3:協議会を構成する委員数の減											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	小浜線、バス等の年間利用者数(千人)		1,963	2,073		(2,497)		(2,497)	嶺南地域公共交通網形成計画における、JR小浜線(1,635千人)、バス・乗合タクシー等(862千人)の年間利用者数(6年度末目標)毎年夏頃に実績公表 計画では令和6年度末までの成果指標のみ設定しており、年度ごとの成果指標は設定していない			
活動指標	嶺南地域公共交通活性化協議会の開催回数		(2) 2	(2) 1	(2) 1	(4)		(10)	年4回 (進捗管理=年2回、計画改訂=4回)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
7月に協議会を開催 協議会1回分に代えてワーキンググループを複数回開催済みのため、活動指標は事実上達成				必要に応じて、協議会の開催頻度について検討する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

嶺南地域公共交通充実支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	ハード：2/3（市町1/3） ソフト：1/2（市町1/2）											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる（創造力）] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[嶺南地域公共交通網形成計画]					
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域の公共交通の活性化を図るとともに、新幹線開業により嶺南地域における人やモノの交流が拡大することから、小浜線やバスなど嶺南地域の二次交通の充実を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] JR小浜線の年間利用者数 H30：1,557千人 → R4：1,326千人 バス・乗合タクシー等の年間利用者数 H30：862千人 → R4：747千人						
[事業目的] 嶺南地域の公共交通機関の充実や利便性向上を図るための取組みに対して支援する。												
[事業内容] 敦賀市 コミュニティバス等に導入した交通系ICカードICOCAシステムの運用 美浜町 チョイソコみはまの実証運行 コミュニティバス等に導入した交通系ICカードICOCAシステムの運用 高浜町 レンタサイクルの導入												
[受益者] 小浜線、バス等の利用者						[想定される受益者数] 249万7千人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 嶺南地域公共交通網形成計画推進事業 (役割分担)					
市町との連携状況	嶺南6市町が拠出した負担金で造成した「嶺南快速鉄道基金」を活用				他県の状況		—					

嶺南地域公共交通充実支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	ハード：2/3（市町1/3） ソフト：1/2（市町1/2）											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,241			(繰入) 10,241		地域振興基金（嶺南快速鉄道基金）の繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		22,202	39,340	30,558	10,241	支援対象事業の減						
2月現計予算額の推移		20,791	34,597	24,362								
決算額の推移		18,927	33,804									
前年度までの 主な増減理由	各年度、支援対象事業費により増減あり											
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	小浜線、バス等の年間利用者数(千人)	(目標)				(2,497)		(2,497)	嶺南地域公共交通網形成計画における、JR小浜線(1,635千人)、バス・乗合タクシー等(862千人)の年間利用者数(6年度末目標)毎年夏頃に実績公表 計画では令和6年度末までの成果指標のみ設定しており、年度ごとの成果指標は設定していない			
活動指標	補助件数	(目標)	(4)	(6)	(7)	(3)			嶺南広域行政組合を通じて行う市町等への補助件数			
		実績	1,963	2,073								
		実績	4	6	7							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
敦賀市 美浜町	コミュニティバスに交通系ICカードICOCAを導入			引き続き、嶺南地域の公共交通機関の充実や利便性向上を図るための取組みに対して補助				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
高浜町 おおい町 若狭町	コミュニティバスに交通系ICカードICOCAを導入 デマンド交通の実証運行 市街地を周遊するグリーンスローモビリティの実証運行 デマンドバスの運行 小浜線の駅と主要観光地を結ぶ広域バスの実証運行 レンタサイクルの整備							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	20,317	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線二次交通等整備促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
令和6年春の北陸新幹線開業により、全国からの観光客等が大幅に増加する見込みである。そのため、新幹線駅等からの2次交通の充実を図る必要がある。						北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 芦原温泉駅 : 3,760人/日 (出典: 芦原温泉駅周辺整備基本計画書) 敦賀駅 : 9,300人/日 (出典: H26敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)						
[事業目的]												
まちなかの観光地を周遊する定額タクシーの新設を支援し、増加が見込まれる観光客等の移動手段の確保を図る。												
[事業内容]												
(1) まちなか周遊交通の推進 ① まちなか周遊定額タクシーの運行 ・市内の観光スポットを周遊できる定額タクシーの運行(あわら市、鯖江市、南越前町) ② 広域定額タクシーの運行 ・市町境を超えた広域で観光スポットを周遊できる定額タクシーの運行(丹南地域) ③ まちなか周遊バスの運行 ・市内の観光スポットを周遊できるバスの路線拡充に対し運行経費を支援(敦賀市) (2) 越前たけふ駅デマンド交通の支援 ・越前たけふ駅(新幹線駅)と武生駅(在来線駅)を結ぶデマンド交通の運行(越前市)												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 2,000万人(ふくい観光ビジョン観光客入込数目標値(令和6年))						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

新幹線二次交通等整備促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/2												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	40,472					40,472							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					17,558	40,472	事業実施期間の変更に伴う増加						
2月現計予算額の推移					17,588								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標)				(5,835)		(5,835)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度5月頃に公表予定				
		実績											
活動指標	補助事業件数	(目標)			(4)	(6)			補助対象事業数				
		実績			5								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
5件に補助し、活動指標は達成 敦賀市……ぐるっと敦賀周遊バスの増便 あわら市、鯖江市、丹南地域……定額タクシーの導入 越前市……まちなかデマンド交通の導入				引き続き補助を実施し、増加が見込まれる観光客等の移動 手段の確保を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

公共交通事業者における人材確保支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 近年、公共交通の運転士の高齢化や不足、長時間労働が課題となっている中、減便など利用者の利便性に深刻な影響が出ることが懸念されることから、運転士確保対策を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内有効求人倍率 (R5.8) 運輸3.00 全体1.91						
[事業目的] 運転体験や説明会など交通事業者等が行う新たな人材確保策に対して支援する。												
[事業内容] 運転体験会や会社説明会など人材確保イベントの増加、実施内容の充実にかかる経費を支援 1 運転体験会・説明会等開催費 ・運転体験会と合わせて優良運転士による説明会や運転技能会を実施し、開催における会場使用料および広報費を補助(補助率: 1/2) ・各事業者が実施する人材確保へ補助(補助率: 1/2、上限30万円) 2 第二種免許取得費、就職奨励金 ・タクシー事業者が新規採用した女性、副業、UIターンの第二種免許取得に要する教習費用を補助(県1/2) ・女性が働きやすい職場環境改善(タクシー車内カメラ設置、女性用休憩室整備等)に要する費用を補助(県1/2、上限50万円) ・運転士勤務者(高卒、若者、女性、副業、UIターン者)への奨励金(40万円/人(高卒)、30万円/人(その他対象者)) ・タクシー会社の新たな採用方法を検討するため「政策デザイン」の仕組みを活用し、採用アドバイザー派遣費用を補助(県10/10) ・事業者の取組みを紹介したPR冊子の作成(採用アドバイザー監修) 事業期間: 令和5年度～令和7年度(3年間)												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人(R4年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

公共交通事業者における人材確保支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,383				20,383							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				13,218	20,383	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、タクシー運転手への就職奨励金の拡充 ・バス会社が個別に実施する採用活動の支援拡充 ・タクシー会社の紹介冊子を新規作成 						
2月現計予算額の推移				13,218								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	運転士新規採用人数 (目標)			(15)	(55)		(70)	バス(25人)・タクシー運転士(30人)新規採用数(単位：人) ※県就職奨励金対象者数(実績は4月に確定)				
	実績											
活動指標	説明会・体験会実施回数 (目標)			(8)	(8)		(16)	補助事業(運転体験会・説明会)の実施回数(単位：回)				
	実績			8								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
バス・タクシー運転士募集説明会の実施回数 8回 バス運転士採用数 4名 タクシー運転士採用者数 5名 採用者数 合計 9名 (採用者数は説明会に参加した人のうち採用された人数) (R6.2末時点)				運転士の採用実績および交通事業者の要望を踏まえ、運転士募集説明会等で配布する事業者PR冊子を作成するとともに、各事業者が実施する人材確保の取組みについても支援を実施する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

物流事業者における人材確保支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] トラックドライバーの働き方改革に関する法律の適用により、物流事業者は「2024年問題」に直面している。県内物流事業者の中でも特に中小零細事業者が適切に対応できるよう支援する。						[問題・課題を表す客観的データ] 2024年問題に対して対策を講じない場合、2024年度は14%、2030年度は34%の輸送力不足の可能性 (国試算)						
[事業目的] 物流事業者の人材確保を図るため、大型・中型運転免許の取得や荷役作業の省力化機器の導入を支援する。												
[事業内容] (1) 大型・中型運転免許取得費用支援 補助率 1/2 (国庫補助を除く、併用可) 補助上限 1人あたり15万円 人数 40人 (2) 荷役作業の省力化機器等の導入支援 補助率 1/2 (国庫補助を除く、併用可) 補助上限 1社あたり50万円 想定：テールゲートリフター、標準パレット、アシストスーツ など 件数 10事業者												
[受益者] 県内物流ドライバー						[想定される受益者数] 約7,500人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	(愛媛県) 物流効率化に資する機器等導入経費支援 (富山県) 生産性向上に資するシステムや機器等導入経費支援					

物流事業者における人材確保支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名 <small>未来創造部新幹線・交通まちづくり局</small>	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,235				11,235							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						11,235						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規ドライバー数 (目標) 実績					(40)		(40)	県トラック協会会員企業の約1割にあたる40社、1社あたり1人 ※県支援(大型・中型運転免許取得支援)によるものに限る			
活動指標	県の支援制度を活用する 物流事業者数 (目標) 実績					(50)		(50)	補助件数(運転免許取得支援:40社、荷役作業省力化支援:10社)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
-					-			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線駅等タクシー確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	1/2、10/10																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]												
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機にタクシーを利用して目的地まで移動する方の増加が想定され、来県者等が目的地まで円滑に移動するためには、新幹線等の到着に合わせて駅待ちするタクシーを確保する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 芦原温泉駅 : 3,760人/日 (出典: 芦原温泉駅周辺整備基本計画書) 敦賀駅 : 9,300人/日 (出典: H26 敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)													
[事業目的] 北陸新幹線利用者の利便性向上のため、新幹線駅等の駅待ちタクシーを確保するとともに、タクシー運転手確保に向けて企業等退職予定者の二種運転免許取得を支援する。																			
[事業内容] (1) 新幹線到着時における駅待ちタクシーの確保 ・新幹線各駅に設置したライブカメラを活用し、タクシー利用者の状況に応じて各事業所が駅配車を行う。 ・新幹線到着時刻に駅で待機したタクシーに対して営業補償を行う。(越前たけふ駅、敦賀駅) 配車台数 越前たけふ駅、敦賀駅各3台(駅ごと・日ごとに当番制を導入) (2) 芦原温泉駅・あわら湯のまち駅夜間タクシーの確保 ・観光客や旅館の利用客のニーズに対応できるよう、芦原温泉駅やあわら湯のまち駅において夜間待機するタクシー数を増車 補助率 県1/2、あわら市1/2 増車台数 芦原温泉駅、あわら湯のまち駅各2台 (3) セカンドキャリア運転手担い手推進事業 ・退職前の会社員等のセカンドキャリアとしてタクシー運転手等を選択してもらえるよう、二種免許取得費用を支援(20人分)																			
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 2,000万人(ふくい観光ビジョン観光客入込数目標値(令和6年))													
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況	あわら市と協調して補助を実施					他県の状況	—												

新幹線駅等タクシー確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		R5 年度 経過年数		
補助率	1/2、10/10								<input type="checkbox"/> その他		2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,466					18,466							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					0	18,466	事業実施期間の拡大による増						
2月現計予算額の推移					2,928								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	配車台数の増加 (目標) 実績				(10) 10	(10)		(10)	芦原温泉駅+2台、あわら湯のまち駅+2台(夜間) 越前たけふ駅+3台、敦賀駅(東口)+3台 ※新幹線開業後の実績は4月に確定				
活動指標	配車支援する駅 (目標) 実績				(4) 4	(4) 4		(4)	新幹線3駅(越前たけふ駅、敦賀駅、芦原温泉駅)+あわら湯のまち駅				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価					
3月16日の新幹線開業日から、新幹線4駅のタクシー配車台数を次の通り増やし、観光客の需要増に対応。 芦原温泉駅+2台(夜間)、あわら湯のまち駅+2台(夜間)、越前たけふ駅+3台、敦賀駅(東口)+3台					-			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

タクシードライバー確保対策実証事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	6 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	10/10																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		[]											
[解決すべき問題・課題] 近年、タクシー運転士の高齢化や不足、長時間労働が課題となっている中、タクシーが不足すると利用者の利便性に深刻な影響が出ることが懸念されることから、運転士確保対策を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 芦原温泉駅 : 3, 760人/日 (出典: 芦原温泉駅周辺整備基本計画書) 敦賀駅 : 9, 300人/日 (出典: H26敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)													
[事業目的] タクシードライバーの確保に向けて、国の規制緩和の動向を踏まえ、新たな輸送サービスの検討や実証を進める。																			
[事業内容] (1) 新たな輸送サービスの内容等を検証する検討会の開催 開催回数: 3回 (2) 新たな輸送サービスの実証運行の実施 対象地域: 2エリア																			
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)													
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況						他県の状況													

タクシードライバー確保対策実証事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	6 年度
事業実施方法	補助												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,734					15,734							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						15,734							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	実証運行の実施 (目標) 実績					(2)		(2)	新たな輸送サービスの実証運行件数(2エリア)				
活動指標	検討会の実施 (目標) 実績					(3)		(3)	国の規制緩和の動向を踏まえた検討会の開催件数				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し 見直し額 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他					

タクシーDX化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之						
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)						
事業実施方法	補助																R6 年度
補助率	10/10																
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]										
[解決すべき問題・課題] 本県のタクシー業界は高齢化や人手不足、コロナ禍の影響により厳しい経営状況に置かれている。						[問題・課題を表す客観的データ] 配車アプリ導入率 (R3年度末時点) 福井県 12.0%、東京都 93.5%、富山県 43.6%、石川県 42.6% 交通系ICカード決済対応率 (R3年度時点) 福井県 7.0%、富山県 23.3%、石川県 40.5%											
[事業目的] タクシー配車アプリの導入支援を行うことにより、利用者の利便性向上と事業者の経営改善を図る。																	
[事業内容] タクシー配車アプリの導入経費を補助する。 補助件数：40件 補助率：10/10																	
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)											
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)										
市町との連携状況						他県の状況											

タクシーDX化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		R5 年度 経過年数		
補助率	10/10								<input type="checkbox"/> その他		2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,901					4,901							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					189,732	4,901	補助対象者数の減						
2月現計予算額の推移					189,732								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	配車アプリ導入率 (目標)				(50)	(60)		(60)	配車アプリ導入率 (単位：%)				
	実績				56								
活動指標	補助件数 (目標)				(321)	(40)		(361)	補助タクシー台数 (単位：台) ※最終目標は累計				
	実績				474								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
配車アプリ、キャッシュレス決済端末導入率について、5割を超え目標を達成 ※補助タクシー台数は令和6年2月末時点で474台				キャッシュレス決済の導入支援は導入目標 (5割) を達成したためスクラップ				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	184,831		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

省エネタクシー車両導入緊急支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	<small>未来創造部新幹線・交通まちづくり局</small>	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度
事業実施方法	補助			事業区分			事業開始年度		R5 年度		
補助率	1/2						事業開始年度		経過年数 2 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
新幹線開業による観光客等のタクシー利用増が見込まれる中、県内でのオートガスタンド廃止の影響によりタクシー台数の確保が困難となっている。						オートガスタンド廃止となる市町内LPG車両数 (R5支援前の車両数) 敦賀市80台、小浜市20台、美浜町11台、若狭町2台、越前市8台、南越前町1台、大野市7台、勝山市7台					
[事業目的]											
影響を受ける市とともにタクシー事業者のLPG車両から省エネ車両への入れ替えを支援し、タクシー台数の維持・確保を図る。											
[事業内容]											
タクシー車両のLPG車から省エネ車 (HV、EV、PHEV、FCVに限る) への車両更新費を補助する。 補助率: 1/2 (市1/2) 補助額: 新車 300千円 中古車 200千円 ※EV、PHEV、FCV、車いす対応は100千円加算											
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町と協調補助					他県の状況	—				

省エネタクシー車両導入緊急支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/2												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	7,200					7,200							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					0	7,200	補助対象台数（市町）の減						
2月現計予算額の推移					30,700								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	省エネタクシー入替台数 (目標) 実績				(111)	(24)		(135)	省エネタクシー入替台数（単位：台） ※最終目標は累計。年度末にかけて入替中のため、4月に実績確定				
活動指標	補助件数 (目標) 実績				(7) 7	(4)		(10)					補助対象件数
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価					
7市町（敦賀市、小浜市、勝山市、越前市、南越前町、美浜町、若狭町）に補助を実施し、活動指標は達成					LPG車両の入替が終わっていない市町に対して補助を継続			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

次世代地域公共交通推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助									
補助率	1/2									
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等	[]				
[解決すべき問題・課題] 車への依存や少子化の影響により、バスの利用者は減少傾向が続き、路線の維持・確保が難しい状況になっている。このため、公共交通の利便性を高め、利用者を確保することが不可欠である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県人口 H24年 1月：802,680人 → R4年 8月：754,116人 (△6.1%) ・県の65歳以上人口 H23年10月：199,900人 → R3年10月：233,283人 (高齢化率24.9%) (高齢化率30.7%)				
[事業目的] 人口減少社会の進展やコロナウイルス感染症の拡大により、鉄道やバス等の地域公共交通の利用者数が減少する中、将来にわたって地域の公共交通の維持・確保が重要となっている。そのため、地域公共交通の基盤整備に向けて、交通事業者や市町が行う新しい技術や手法の導入について支援するとともに、新たなモビリティサービスの導入について、交通事業者や市町等と情報共有することにより、交通分野におけるDX化を推進し、地域住民や来県者の利便性向上を図る。										
[事業内容] I 次世代地域公共交通検討会議の開催 (728千円) ○DX技術の活用による利便性の向上、地域の実情にあった地域交通の効率化の検討 ・DX技術を活用した路線バス等の運行状況の情報提供や新たなモビリティサービスであるAIデマンド交通の導入等 II 次世代地域公共交通推進事業補助金 (8,000千円) ○公共交通需要に対応した移動サービスの提供 補助対象事業 地域公共交通の需要に対応した移動サービスを提供し、利用者の利便性向上を図る事業 ・バスロケーションシステムの整備、案内サイネージの整備等 補助率等 1/2 (補助上限2,000千円、広域連携事業は上限3,000千円) 対象者 市町、交通事業者 等										
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)				
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新モビリティサービス推進事業 (実績) 路線バス等の経路検索、キャッシュレス手段の導入、鉄道とバスの共通定期券や乗継割引などの検討・実証の支援、バス路線等の乗継拠点の環境整備を支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		
市町との連携状況	次世代の地域公共交通を検討する検討会の構成員に各市町が参加					他県の状況		富山県・岐阜県 ・AI等の技術を活用した新たなモビリティサービス等の運行に伴う経費を支援		

次世代地域公共交通推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、補助										経過年数			2 年
補助率	1/2													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,728					8,728								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					8,728	8,728								
2月現計予算額の推移					7,328									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	公共交通機関利用者数 (千人)	(目標) 実績	16,034	17,650	19,389	(21,054)	(21,190)	(21,190)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度5月頃に公表予定					
活動指標	補助事業件数	(目標) 実績				(3) 4	(4)		次世代地域公共交通の導入件数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・次世代地域公共交通検討会議を3回開催した。 ・補助事業件数は4件となり、活動指標の目標を達成					・次世代地域公共交通検討会議や交通事業者・市町ヒアリングを踏まえ、公共交通のDX化に資する事業を支援				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

金沢・福井間新幹線連絡バス運行事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井開業後、東京発の「かがやき」最終便が金沢駅止まりとなるため、金沢駅から福井駅までの移動手段がなく、利用客の利便性が確保されていない。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線「かがやき」519号 (最終便) 東京発 21:04 金沢着 23:32 ⇒ 1便前の「はくたか」577号は東京発が20:12であり、滞在時間が1時間短くなる						
[事業目的] 北陸新幹線利用者の利便性向上を図るため、「かがやき」東京発最終便に接続する連絡バスの実証運行を実施する。												
[事業内容] ○ 「かがやき」東京発最終便に接続する金沢・福井間の連絡バスを運行 ・ 実施方法 県内バス事業者への運行委託 ・ ダイヤ (予定) 金沢駅発 23:50 ⇒ 福井駅着 01:15												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

金沢・福井間新幹線連絡バス運行事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	28,358					28,358										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						28,358										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								実証運行中の利用状況等に応じた運行方法や目標値の見直し予定であり、成果指標の設定に馴染まない							
活動指標	(目標) 実績					(15)		(15)								
平均乗車人数									国の地域間幹線系統（広域路線）補助要件 (輸送量15～150人/日)							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価								
-					-			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

路線バス半額利用キャンペーン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助												
補助率	定額												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
人口減少によりバス路線の利用者数は減少しており、地域住民の移動手段として必要不可欠なバス路線の維持・確保が困難になっている。						<ul style="list-style-type: none"> ・ 県人口 H25年 1月 : 798,633人 → R5年 8月 : 745,376人 (△6.7%) ・ 県の65歳以上人口 H24年10月 : 205,358人 → R4年10月 : 232,706人 ・ バス利用者 H25年 6,197人 → R4 4,582千人 (△26.1%) 							
[事業目的]													
北陸新幹線福井・敦賀開業に合わせて利用者の利便性向上を図る。													
[事業内容]													
○交通系ICカード利用者が路線バスを半額で乗車できるキャンペーンを実施 事業期間：令和6年4月～5月（土日祝）													
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 2,000万人（ふくい観光ビジョン観光客入込数目標値（令和6年））							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況	バス無料デー (徳島県) 令和5年:年4回実施 対象路線:県内5社が運行する全路線、全線区(コミュニティバス除く) (佐賀県) 令和5年:年17回実施 対象路線:県内7社が運行する路線バス、コミュニティバス						

路線バス半額利用キャンペーン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	定額												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	29,084					29,084							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					0	29,084	キャンペーン実施日数増のため						
2月現計予算額の推移					25,453								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標)				(5,835)		(5,835)	福井県長期ビジョン（令和6年目標） キャンペーンは令和6年3月16日より開始のため5年度の目標は設定していない 実績は翌年度5月頃に公表予定				
		実績											
活動指標	バス半額デー平均利用者 (1日当たり)	(目標)			(13,512)	(13,512)		(13,512)	1日当たり平均利用者数9,008人×1.5倍（事業効果）=13,512人（目標値）				
		実績											
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価					
交通系ICカード利用者が路線バスを半額で乗車できるキャンペーンを3月16日の新幹線開業日から実施（16日間）					-			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

路線バス利用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助										
補助率	定額										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
人口減少によりバス路線の利用者数は減少しており、地域住民の移動手段として必要不可欠なバス路線の維持・確保が困難になっている。						・県人口 H25年 1月 : 798,633人 → R5年 8月 : 745,376人 (△6.7%) ・県の65歳以上人口 H24年10月 : 205,358人 → R4年10月 : 232,706人 ・バス利用者 H25年 6,197人 → R4 4,582千人 (△26.1%)					
[事業目的]											
今までバスを利用しなかった人が、利用するきっかけを作ることでバスの利用促進を図る。											
[事業内容]											
○スタンプラリーの開催 (想定 : 秋期) ・バス停にQRコードを設置し、モバイルスタンプラリーを実施 ・スタンプの個数に応じて景品抽選に応募が可能 ○ICOCA利用者バス無料デーの設定 (5日間) ・スタンプラリーの実施期間と合わせてICOCA利用者が県内バスを無料で乗車できる日を設定 ○バス利用者への特典配付 (想定 : 10~11月の土日祝) ・バス停近くで開催されるイベントにおいて、バス来場者に対して特典 (景品やクーポンなど) を配付											
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	バス無料デーに合わせて市町が関連イベントを開催					他県の状況	バス無料デー (徳島県) 令和5年:年4回実施 対象路線:県内5社が運行する全路線、全線区 (コミュニティバス除く) (佐賀県) 令和5年:年17回実施 対象路線:県内7社が運行する路線バス、コミュニティバス				

路線バス利用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			R6 年度 経過年数		
補助率	定額								□ その他			1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,073	5,929			6,144		電源立地地域対策交付金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						12,073								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標)				(5,835)		(5,835)	福井県長期ビジョン（令和6年目標） 実績は翌年度5月頃に公表予定					
		実績												
活動指標	バス無料デー利用者	(目標)				(17,115)			1日当たり平均利用者数9,008人×1.9倍（事業効果）=17,115人（目標値）					
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
-				-				見直し額						
								<input type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮減		<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
								<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> その他		

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H13 年度 経過年数 24 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	①: 1/2 (国1/2)、②③: 1/2 (市町1/2)											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[福井県高速交通開通アクション・プログラム]					
[解決すべき問題・課題] 高齢化により公共交通の重要性が増している中、人口減少により生活バス路線の利用者数は減少しており、地域住民の移動手段として必要不可欠な生活バス路線の維持・確保が困難になっている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県人口 H25年 1月: 798,633人 → R5年 8月: 745,376人 (△6.7%) ・県の65歳以上人口 H24年10月: 205,358人 → R4年10月: 232,706人 (高齢化率26.0%) (高齢化率31.3%)						
[事業目的] 地域住民の生活に必要な不可欠な生活バス路線の運行を維持し、地域住民の福祉向上を図る。												
[事業内容] ○生活バス路線維持のための補助 ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 (国庫) ②広域生活バス路線維持対策事業補助 (県単: 複数市町運行系統) ③市町生活交通維持支援事業補助 (県単: 同一市町内運行系統)												
[受益者] バス利用者 (通学者、通勤者、高齢者、来県者等)						[想定される受益者数] 4,582千人 (令和4年度)						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 バス事業活性化対策推進事業 (実績) ノンステップバスの導入および廃止路線代替バスの運行費に対する補助のみであったが、バス利用者数の減少等により事業者の採算性の確保が困難となってきたことや、市町コミバスの導入が進んできたことから、広域路線の運行費については事業者、同一市町内路線の運行費については市町に補助を行っている。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		各市町は、コミバスや乗合タクシーの運行および市町内の路線バスへの補助を行い地域の生活交通の確保に努めており、県は市町のこれらの取り組みに対して補助を行っている。				他県の状況		(富山県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費 ②生活路線運行費補助金 (同一市町村の路線でも補助対象となる以外、国庫補助と同じ規定) ③市町村運行バス路線対策費補助金 (コミバス) ④NPO過疎地バス路線支援事業費補助 (石川県) ①地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助 ②県単運行費補助、車両購入費補助 ③生活バス利用促進対策費補助金				

生活バス路線確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H13 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		H13 年度 経過年数		
補助率	①: 1/2 (国1/2)、②③: 1/2 (市町1/2)								<input type="checkbox"/> その他		24 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	503,766				503,766								
[予算額の推移等]												(単位: 千円)	
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	496,143	497,621	469,483	465,087	503,766	地域間幹線系統確保維持費補助補助額が路線の新設、増便に伴い増加							
2月現計予算額の推移	496,143	497,621	469,483	465,087									
決算額の推移	492,798	497,547	469,443										
前年度までの 主な増減理由	令和5年度 地域間幹線系統確保維持費補助、車両減価償却費等補助、広域生活バス路線維持対策事業補助の補助額が減少												
[成果指標等の推移]													
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	バス利用者数 (千人)	(目標) 実績	(5,835) 4,334	(5,835) 4,549	(5,835) 4,582		(5,835)	福井県長期ビジョン(令和6年目標) 実績は翌年度5月頃に公表予定					
活動指標	補助対象バス実車走行キ ロ	(目標) 実績	(8,375) 6,085	(8,185) 6,238	(8,185) 6,675		(8,185)	乗合バス(路線バス・コミバス等を含む)の年間実車走行キロ数 (単位: 千km) 実績は翌年度5月頃に公表予定。					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
人口減少などの影響に加え、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ利用者の回復が進んでいない。市町内路線の分析シートを作成し、各市町の地域公共交通会議で分析結果を提示することで、地域の実情に応じた利用促進策の協議につなげた。				新型コロナウイルスの影響により落ち込んだバス利用者の回復が未だ図れていないことから、市町や事業者、福井運輸支局とともに、路線ごとの生産性向上の取組みについて協議する。また、市町内路線の分析シートを活用し、収支改善や利便性向上のための取組みについて検討していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井県は1世帯当たり自家用乗用車保有台数が全国第1位の約1,698台で、全国トップクラスの車社会であり、過度のクルマ依存は公共交通の衰退につながる。						[問題・課題を表す客観的データ] 1世帯当たりの自家用乗用車保有台数 1,698台 (全国第1位)						
[事業目的] 過度なクルマ利用を見直し、公共交通機関や自転車等への転換を促すカー・セーブ運動を「福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」が中心となり、社会全体で取り組む県民運動として推進する。												
[事業内容] ○福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議運営 ・県民会議を中心として県内各地の関連イベントでの啓発活動等による県民へのカー・セーブ運動の周知、広報活動の実施、バイコロジー活動に対する支援。												
[受益者] 公共交通機関利用者数						[想定される受益者数] 17,744千人 (R4年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ノーマイカー交通促進支援事業 (実績) ノーマイカーデーはH11年度から毎月1日、16日に実施していたが、H20年度から金曜日に公共交通機関や自転車利用、相乗りの実施等によりクルマの利用を控える「カー・セーブデー」に拡大。(H20年度は第2・4金曜日、H21年度以降は毎週金曜日)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南地域公共交通網形成計画推進事業 (役割分担) 新幹線開業に向けて策定した嶺南地域公共交通網形成計画に基づき、小浜線の利活用促進、小浜線の魅力向上、バス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。					
市町との連携状況	県民会議の構成員である各市町において、広報誌等における広報活動やイベントでのチラシ・啓発グッズの配布等を実施している。				他県の状況		(富山県) 「富山県公共交通利用促進協議会」を設置し、ノーマイカー運動を実施し、チラシ作成・配布や広報活動を実施。(構成員：県、市町村、交通事業者、経済界および利用者) (富山県・石川県) バス事業者や市町、協議会等が取り組む先駆的・効果的な利用促進策に対して助成					

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体		福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	2,492					2,492						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,769	2,769	2,492	2,492	2,492						
2月現計予算額の推移		2,769	2,769	2,492	2,492							
決算額の推移		2,769	2,769	2,492								
前年度までの 主な増減理由	R4：県民向け啓発経費削減による減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	公共交通機関利用者数 (千人)	(目標) 実績	(20,647) 16,034	(20,783) 17,650	(20,919) 19,389	(21,054)		(21,190)	福井県長期ビジョン（令和6年目標） 実績は翌年度5月頃に公表予定			
活動指標	広報活動の実施回数	(目標) 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2)		(2)	県民運動推進月間（10月）および公共交通利用促進強化月間（3月）に おける広報活動の実施回数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
県内を運行する電車バスにまつわるエピソードを県民から募集（募集期間7/21～9/29）し、223件の応募あり。受賞作品は新聞やラジオで公開するとともに、ショッピングセンターや電車やバス車内広告で掲示するなど、広く周知した。				今後は北陸新幹線敦賀開業を踏まえ、県内の交通情勢の変化（バス路線の再編、電車のダイヤ変更、並行在来線等）を県民に広く周知する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

自転車活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[福井県自転車活用推進計画]												
[解決すべき問題・課題] 1世帯当たりの自家用乗用車保有台数が全国第1位の1.73台(R2.3時点)であり、自転車の使用頻度が全国平均を下回っており、環境への負荷の低減、健康の増進の観点からも自転車の利用促進を図ることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・1世帯当たりの自家用乗用車保有台数 1.73台(全国第1位) ・1か月間の自転車の平均使用頻度 9.2日(全国平均10.6日)													
[事業目的] 今後の福井県における自転車利用促進の指針となる「福井県自転車活用推進計画」(令和元年度策定)に記載の各種施策を実施する。 また、第2次福井県自転車活用推進計画に向けた協議会を設置し、計画を策定する。																			
[事業内容] 福井県自転車活用推進会議の運営 ・計画に定めた各種施策の進捗に関するフォローアップ 第2次福井県自転車活用推進計画の策定 ・県民アンケートの実施 ・計画策定に向けた協議会の設置・運営																			
[受益者] 県民、来県者						[想定される受益者数] レンタル・シェアサイクル利用者1万5千人													
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自転車利用促進事業 (実績) 「福井県自転車活用推進計画」の策定					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況	・市町の自転車活用推進計画策定促進のための説明会を開催					他県の状況	—												

自転車活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,552					3,552						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		465	84	84	84	3,552	第2次福井県自転車活用推進計画の策定に向けた県民アンケートの実施、協議会の設置・運営費の増					
2月現計予算額の推移		121	84	84	84							
決算額の推移		95	70	70								
前年度までの 主な増減理由		令和3年度 市町向け説明会の開催経費分の減										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	レンタル・シェアサイクルの年間利用者(人)	(目標) 実績	12,000 14,000	19,000		(15,000)		(15,000)	計画では令和6年度末までの成果指標のみ設定しており、年度ごとの成果指標は設定していない ※人数は各年度末に集計のため、翌年度4月に確定			
活動指標	福井県自転車活用推進会議の開催回数	(目標) 実績	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
5月に会議を1回開催し、活動指標は達成				福井県自転車活用推進計画に基づく施策の達成状況を基に、第2次福井県自転車活用推進計画を策定				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県都ランドデザイン推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬貴之	
事業主体	県都にぎわい創生協議会、県、福井市、福井商工会議所、民間団体				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R9 年度			
事業実施方法	負担金、補助、直営										
補助率	1/2										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等 [県都ランドデザイン]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
福井県は100年に一度の大きなチャンスを抑えており、県都の玄関口となる福井駅周辺は10年後、20年後を見据えた長期展望に立ったまちづくりを進める必要がある。						・郊外からまちなかへの移動が全体の6%に留まっており、郊外で完結するライフスタイルが定着し、まちなかが目的地となっていない(第3回福井都市圏パーソントリップ調査(H17)) ・北陸新幹線福井開業 R6.3.16					
[事業目的]											
県都ランドデザインに位置付けたプロジェクトを推進することにより、福井まちなかにおいてにぎわいを生み出し、将来像として掲げた「楽しさあふれる県都」のまちづくりを進める。											
[事業内容]											
(1) 県都にぎわい創生事業 県都ランドデザインのプロジェクトの具体化およびにぎわいの場づくり(県都にぎわい創生協議会等への負担金) (2) 県都ランドデザイン推進支援事業補助金 県都ランドデザインに位置付けられたプロジェクトに対する支援 ・城址周辺の歩行者空間整備 ・足羽川周辺のにぎわい創出 ・浜町における店舗誘致活動 (3) 光の川・ライトブリッジ構想 足羽川周辺のライトアップ整備 (4) 足羽川活用促進事業 地域おこし協力隊採用による足羽川活用の促進											
[受益者] 県民・まちなか観光客						[想定される受益者数] 約120万人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県都のまちづくり推進事業、福井城址周辺整備支援事業(実績) ・R4年10月 県都ランドデザイン策定 ・～R4年度 御本丸緑地公園遊歩道等の整備完了					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名(役割分担)				
市町との連携状況	福井市と福井商工会議所と共同し、県都にぎわい創生協議会の事務局を運営、調整					他県の状況	—				

県都ランドデザイン推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬貴之			
事業主体	県都にぎわい創生協議会、県、福井市、福井商工会議所、民間団体				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	負担金、補助、直営					□ 法定受託事務			■ 補助金			経過年数		
補助率	1/2								■ その他			2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	135,501		55,919			79,582		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					104,646	135,501	プロジェクトの進捗に伴う事業内容の追加による増（足羽川のにぎわい創出のための活動拠点整備完了、ライトアップ計画策定を受けた整備開始など）							
2月現計予算額の推移					101,046									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	まちなかにおける主要観光地入込客数 (セーレンプラネット・福福館・養浩館庭園・足羽山公園遊園地) (単位：万人)				(32)	(34)	(38)	(42)	まちなかの主要観光地の入込客数が増加することがまちなかのにぎわいにつながる。実績は翌年度6月頃に公表予定。					
活動指標	県都ランドデザインのプロジェクト進捗状況の公表 (単位：回)				(1)	(1)	(1)	(1)				年1回		
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
足羽川周辺のにぎわい創出のための活動拠点の整備など、新幹線開業に向けて実施してきた事業が完了し、新幹線での来訪者を迎える体制を充実させた。				活動拠点で行うにぎわい創出のための取組み支援など、持続的に活動ができる体制構築を進める。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

まちなか歴史資源利活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8	年度
事業実施方法	直営									
補助率	—									
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (想像力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等	[県都デザイン戦略、県都グランドデザイン]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]				
県都デザイン戦略に基づき、福井城址周辺において山里口御門の復元や中央公園の再整備等を行ってきたが、新幹線開業により増加が見込まれる観光客等に県都の魅力を感じてもらうため、福井城址を中心とする歴史資源のさらなる磨き上げが必要である。						山里口御門（櫓内）の見学者数 平成30年度 52,180人、令和元年度 49,865人、令和2年度 20,805人、令和3年度 21,969人、令和4年度 37,403人、令和5年度 38,331人（令和6年1月末時点）				
[事業目的]										
県が整備・復元を行った福井の歴史資源を活用し、県民や県外客が楽しみながら歴史を感じることができる環境づくりを行う。										
[事業内容]										
(1) 山里口御門・福の井等の利活用 ・福の井における水汲み体験補助や県産茶の提供 ・山里口御門・福の井を活用したイベントの開催 ・山里口御門等の情報発信（リーフレット等） (2) 福井城址の利活用（石垣ライトアップ等） (3) 周辺歴史資源の保全・利活用 ・由利公正広場の利活用（夜間ライトアップ、七夕飾り設置等） ・岡田啓介・松尾傳蔵像の維持管理（夜間ライトアップ等）										
[受益者] 城址を訪れる観光客等						[想定される受益者数] 200千人				
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井城坤櫓等復元整備事業 (役割分担) 福井城坤櫓等復元整備事業（県）			
市町との連携状況	—					他県の状況	—			

まちなか歴史資源利活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	7,113		1,989			5,124		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			5,678	10,401	9,061	4,193	7,113	石垣ライトアップなど福井城址の活用促進に伴う運営費の増					
2月現計予算額の推移			5,678	10,401	4,961	3,724							
決算額の推移			3,639	10,134	4,476								
前年度までの 主な増減理由		R3 山里口御門の映像装置への動画追加による増 R4 映像設備コンテンツ更新経費分の減 R5 まちなか歴史周遊スポット周遊促進支援補助金の別事業（県都ランドデザイン推進事業）への移行による減											
[成果指標等の推移]													
区 分			令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	山里口御門入場者数	(目標)	(50,000)	(60,000)	(50,000)	(50,000)	(50,000)			新型コロナウイルス感染拡大前のR元年度実績を超える数値を目標とする。実績は翌年度4月に公表予定。			
		実績	20,805	24,597	37,403								
活動指標	イベントの参加人数	(目標)	(7,000)	(7,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)			新型コロナウイルス感染拡大前のR元年度実績を超える数値を目標とする。実績は翌年度4月に公表予定。			
		実績	849	1,283	1,482								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
新型コロナ5類移行前の4月および能登半島地震が発生した1月の山里口御門の入館者数が少なく、成果指標の目標に届かない見込みだが、徐々に回復してきている（令和5年度 入館者数 38,331人（令和6年1月末時点））。 新幹線開業に合わせたイベント開催により、参加人数の増化を図った。					イベント内容の充実による参加人数の増加を図るとともに、石垣ライトアップの通年実施により城址への誘客を促進する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井城坤櫓等復元整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]	関連する県の計画等		[県都デザイン戦略、県都グランドデザイン]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井城址の歴史的価値に対する県民の理解を深め「県都のシンボル」として次世代に継承するため、誇りと愛着を育て「県民の城」として認識してもらう必要がある。						山里口御門(櫓内)の見学者数 平成30年度 52,180人、令和元年度 49,865人、令和2年度 20,805人、令和3年度 21,969人、令和4年度 37,403人、令和5年度 38,331人(令和6年1月末時点)						
[事業目的]												
福井の新しい文化・歴史のシンボルとして、坤櫓および西側土塀を復元し、福井城址の歴史拠点としての魅力をさらに高める。												
[事業内容]												
○福井城坤櫓、本丸西側土塀の復元整備												
○令和6年度事業内容												
(1) 実施設計 坤櫓および本丸西側土塀の図面作成、建築物の構造計算、設計書の作成												
(2) 石垣補強設計 石垣の補強図面作成、構造計算、設計書の作成												
(3) 復元整備検討委員会開催 委員会を開催し、実施設計に対する歴史的・技術的な検証や坤櫓等の整備推進、利活用方法について検討												
(4) 復元に向けた気運醸成 福井城連続セミナーの開催、寄付金の募集												
[受益者] 城址を訪れる観光客等						[想定される受益者数] 200千人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井城址活用推進事業 (実績) 令和4年度に福井城に関する史料・文献調査を行い、坤櫓等復元のための基礎資料を整理した。					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 まちなか歴史資源利活用事業 (役割分担) まちなか歴史資源利活用事業(県)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

福井城坤櫓等復元整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			2 年
補助率	—														
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	87,078			82,000	寄付金	600	4,478								
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分			令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						78,833	87,078	事業内容、進捗による増							
2月現計予算額の推移						78,833									
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分			令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績									完成年度は未定のため、成果指標の設定になじまない。					
活動指標	坤櫓等の復元整備完了 (目標) 実績					(基本設計) (基本設計)	(実施設計)		(復元完了)						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
福井城坤櫓等復元整備基本設計を実施し、復元整備に向け計画通り進捗。				引き続き、福井城坤櫓等復元整備実施設計等を実施。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

敦賀のまちづくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	敦賀まちづくり協議会、敦賀市				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	負担金、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業時の当面の終着駅となり、嶺南地域の広域観光の玄関口となる敦賀において10年後、20年後を見据えたまちづくりを進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 敦賀駅：9,300人/日(出典：H26敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)						
[事業目的] 県・敦賀市・経済界による「敦賀まちづくり協議会」を開催し、港や鉄道、歴史、食などのコンテンツを活かした敦賀のまちづくりを推進する。												
[事業内容] 1 敦賀のまちづくり推進事業 ・敦賀まちづくり協議会の開催 等 2 金ヶ崎周辺魅力づくり推進事業 ・令和5年11月に策定した「金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画」に基づく以下の事業を支援 ①金ヶ崎魅力向上事業(公園整備事業) ・敦賀市が行う公園、駐車場等の設計に対する支援 ②神楽通り参道化事業 ・敦賀市が行う神楽通り再整備に係る設計等に対する支援												
[受益者] 敦賀市への来訪者						[想定される受益者数] 261万人(R4 敦賀市の観光客入込客数(延べ人数))						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 金ヶ崎周辺魅力づくり推進事業 (実績) 「金ヶ崎魅力向上デザイン計画」を策定					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) —					
市町との連携状況	「敦賀のまちづくり協議会」に県も参画して協議する。					他県の状況	—					

敦賀のまちづくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	<small>未来創造部新幹線・交通まちづくり局</small>	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之			
事業主体	敦賀まちづくり協議会、敦賀市				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	負担金、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			経過年数		
補助率	1/2					■ その他			□ その他			1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	49,913					49,913								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						49,913	—							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの主な増減理由		—												
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	敦賀市への観光入込客数の増加 (単位：万人)	(目標)					(283)	(306)	金ヶ崎地区および神楽通りの整備等により、令和4年度の敦賀市への年間観光入込客数から45万人増加させる。					
		実績												
活動指標	金ヶ崎地区および神楽通りの整備完了	(目標)												
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
—				—				見直し額						
								□ 拡充		□ 縮減		□ 終期の見直し		
								□ 継続		□ 休止		□ 完了		
								□ 整理統合		□ 廃止		□ その他		

小松空港国際線利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	<small>未来創造部新幹線・交通まちづくり局</small>	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会					事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H18 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	—								<input type="checkbox"/> 法定受託事務				
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
小松空港就航の国際線は新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込んでおり、感染状況を見極めながら、利用回復を図る必要がある。						<ul style="list-style-type: none"> ・ソウル便 R2. 3. 6から全便運休中 (通常3往復/週) ・上海便 R2. 3. 3から全便運休中 (通常6往復/週) ・台北便 エバー航空運航便 R5. 4. 1から運航再開 (通常7往復/週) <li style="padding-left: 20px;">タイガーエア台湾便 R5. 7. 2から運航再開 (通常2往復/週) 							
[事業目的]													
福井・石川両県の行政や経済界等からなる小松空港国際線利用促進同盟会を通じ、小松空港国際線の利用促進を行う。													
[事業内容]													
<p>○小松空港国際線利用促進同盟会負担金 (主な活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞や広報誌などによる広報活動 ・両県でのショッピングセンターや主要駅におけるキャンペーン ・就航国との連携イベントにおける双方向でのPR ・就航国の現地取材による旅行記事の雑誌掲載 ・テレビでの旅行番組の放映によるPR ・チャーター便旅行商品に係る広報への支援 													
[受益者] 小松空港国際線の利用者など						[想定される受益者数] 19万8千人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際定期路線開拓推進事業 (役割分担) 本事業による広報とは異なり、福井県民向けに特化した広報内容とするほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。					
市町との連携状況	—					他県の状況		石川県負担金10,000千円					

小松空港国際線利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	部新幹線・交通まち	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	小松空港国際線利用促進同盟会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,500				2,500							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	10,500	2,500	2,500	2,500	2,500							
2月現計予算額の推移	0	0	1,250	2,500								
決算額の推移	0	0	1,250									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度：冬ダイヤから週6便に増便された上海便に対する運航支援3,000千円を増額 ・ 令和3年度：新型コロナウイルス感染症の影響による国際線の運休に伴い、香港便・上海便への運行支援8,000千円を減額 											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	小松空港国際線利用人員 (目標)	(198)	(198)	(198)	(198)	(198)	(198)	小松空港国際線定期便の年間利用人員(単位：千人) コロナ前の令和元年度実績(198千人)を中間・最終目標に設定 実績は翌年度5月に公表予定 ※2~4年度はコロナにより全便運休				
	実績	0	0	0								
活動指標	広報活動の実施件数 (目標)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	広報活動の実施件数 (小松空港就航の国際線：3路線(ソウル便、上海便、台北便))				
	実績	0	0	1	3							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和4年度まで新型コロナにより国際線全便運休 令和5年度より順次運行再開(国際線利用者数 96千人(12月末現在))				国際線の運航再開の広報を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

嶺北地域公共交通計画推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	嶺北地域公共交通活性化協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[嶺北地域公共交通計画]					
[解決すべき問題・課題] 嶺北地域において利便性が高く将来にわたって持続可能な地域交通ネットワークを実現する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・嶺北地域のバスの人口当たり年間輸送人員 R元年度：2.7回 → R4年度：2.3回						
[事業目的] 新幹線駅の交通ネットワークの充実とともに、並行在来線・えちぜん鉄道・福井鉄道・JR越美北線の鉄軌道網と広域路線バスを軸とした地域公共交通計画を策定し、公共交通機関の利活用促進、鉄軌道網とバス等との接続強化など、公共交通の利便性向上を図る。												
[事業内容] 嶺北地域公共交通活性化協議会の運営 計画に位置付けた事業の進捗確認や、評価・検証を行うため、県・嶺北市町・交通事業者等で構成する協議会を運営する。												
[受益者] 嶺北公共交通機関利用者						[想定される受益者数] 860万9千人 (R3実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	計画を推進する協議会の構成員に嶺北市町が参加				他県の状況	岐阜県：R3年度に地域公共交通計画を策定						

嶺北地域公共交通計画推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之			
事業主体	嶺北地域公共交通活性化協議会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	負担金					<input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業終了					
補助率	—								事業終了					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	180					180								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						180								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	地域鉄道3社の1日当たり利用者数 (目標) 実績							(36,000)	嶺北地域公共交通計画における、地域鉄道3社（ハピラインふくい、福井鉄道、えちぜん鉄道）の1日当たり利用者数（10年度末目標） ※計画に年度ごとの目標は設定していない					
活動指標	嶺北地域公共交通活性化協議会の開催回数 (目標) 実績					(2)			年2回					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し 見直し額 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他						

嶺南地域新幹線駅周辺整備支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	嶺南広域行政組合					事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助												
補助率	国庫補助を除いた額の2/3以内												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		[嶺南地域公共交通網形成計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀の開業効果を嶺南地域全体に波及させるためには、敦賀駅から嶺南各地への移動の利便性を確保するなど、交通結節機能を整備する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 敦賀駅：9,300人/日(出典：H26敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)							
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業および小浜開業に向けて、嶺南地域の公共交通機関の充実や利便性向上を図るため、嶺南地域の新幹線駅における利用環境整備の取組みに対して支援する。													
[事業内容] ○敦賀駅新幹線駅前広場(東口) ・駅前ロータリー、バス・タクシー乗降場、キャノピーの整備 等													
[受益者] 敦賀市への来訪者						[想定される受益者数] 261万人(R4 敦賀市の観光客入込客数(延べ人数))							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 敦賀駅(東口)周辺整備事業(役割分担) ・新幹線敦賀駅東口の緑化空間・駐車場、散策路連絡橋の整備(県：北陸新幹線三駅周辺整備推進事業で敦賀市に対し補助)					
市町との連携状況	県と嶺南6市町の負担で造成した「嶺南快速鉄道基金」を活用					他県の状況		—					

嶺南地域新幹線駅周辺整備支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		R3 年度 経過年数		
補助率	国庫補助を除いた額の2/3以内								<input type="checkbox"/> その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	92,682			(繰入) 92,682		地域振興基金（琵琶湖若狭湾鉄道の建設基金）の繰入金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				4,200	267,476	92,682	整備内容、進捗による減						
2月現計予算額の推移				4,200	275,750	92,682							
決算額の推移				4,200	275,750								
前年度までの 主な増減理由	各年度、整備内容・進捗により増減あり												
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	新幹線駅の利便性向上 (目標) 実績								新幹線駅の利便性向上を行うものであり、効果発現は開業日（令和6年3月16日）以降となるため、成果指標の数値目標の設定になじまない				
活動指標	駅前広場の完成 (目標) 実績								令和5年度完成				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度補助 新幹線駅前広場（地盤改良工事、L型擁壁設置等） ・ R4年度補助 新幹線駅前広場（キャノピー製作、工事等） ・ R5年度補助 新幹線駅前広場（ロータリー整備、キャノピー設置工事等） 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	92,682		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

地域公共交通キャッシュレス化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体		京福バス（株）、福井鉄道（株）			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井開業により、首都圏を中心に来県者が大きく増加することが見込まれている。首都圏での交通系ICカード普及率は8割に達しており、普段バスをキャッシュレスで利用している来県者に対し、小銭での運賃支払いを求めることは、路線バス利用の阻害要因になるばかりでなく、本県のイメージダウンにもつながりかねない。						[問題・課題を表す客観的データ] 路線バスへの交通系ICカードの導入状況：0件						
[事業目的] 嶺北地域においてバスを運行する事業者に対して、全国的に普及している交通系ICカードの導入を支援することで、運賃支払時のキャッシュレス化を進め、地域住民や観光客の利便性向上を図る。												
[事業内容] 路線バスへの交通系ICカードの導入に要する費用を支援する。 補助対象経費：車載機購入費・設置費、システム設定費等 補助率：10/10 補助対象者：京福バス株式会社、福井鉄道株式会社												
[受益者] 嶺北路線バス利用者						[想定される受益者数] 259万2千人 (R3実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	ランニング経費については、市町が応分を負担。					他県の状況	富山県：富山地方鉄道に導入 (R3) 石川県：北陸鉄道（城下まち金沢周遊バス）に導入 (R4)					

地域公共交通キャッシュレス化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	京福バス（株）、福井鉄道（株）				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	410,320					410,320						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							410,320	設置工事、システム開発による増				
2月現計予算額の推移						81,950	260,000					
決算額の推移						81,950						
前年度までの 主な増減理由		R4.9月補正 事業開始（車載器購入）										
[成果指標等の推移]												
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	交通系ICカードの路線バスへの導入	(目標) 実績					(149) 149			R5までに京福バス122台、福井鉄道バス27台に導入		
活動指標	補助事案件数	(目標) 実績				(2) 2	(2) 2					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
路線バスへの交通系ICカード導入を完了し、令和6年2月24日から運用を開始				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	410,320	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線三駅周辺整備推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	敦賀市、あわら市、越前市				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助を除いた額の1/2以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[福井県高速交通開通アクション・プログラム]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、県内各地域の玄関口となる新幹線駅周辺の整備を推進する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 芦原温泉駅 : 3, 760人/日 (出典: 芦原温泉駅周辺整備基本計画書) 越前たけふ駅 : 2, 000人/日 (出典: 北陸新幹線南越前駅周辺整備基本計画) 敦賀駅 : 9, 300人/日 (出典: H26 敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅周辺の整備をより一層加速させるため、新幹線駅所在市が主体的に進める駅周辺整備に対して補助を行う。												
[事業内容] ○新幹線敦賀駅 ・駅前広場緑化空間・駐車場、散策路連絡橋工事												
[受益者] 敦賀市、あわら市、越前市への来訪者						[想定される受益者数] あわら市 131万人、越前市 246万人、敦賀市 261万人 (R3 の観光客入込客数(延べ人数))						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 嶺南地域新幹線駅周辺整備支援事業 (役割分担) 新幹線敦賀駅前広場の整備 (敦賀市に対する補助)					
市町との連携状況	敦賀駅周辺整備構想策定委員会				他県の状況		—					

北陸新幹線三駅周辺整備推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	敦賀市、あわら市、越前市				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	国庫補助を除いた額の1/2以内							<input type="checkbox"/> その他		7 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,216				3,216							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	234,751	146,850	258,246	305,727	3,216	芦原温泉駅および越前たけふ駅の本事業に係る周辺整備工事完了による減						
2月現計予算額の推移	204,886	119,501	214,189	305,727	3,216							
決算額の推移	204,886	119,501	214,189	305,727								
前年度までの 主な増減理由	各年度 工事内容により増減あり											
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	新幹線駅の利便性向上 (目標) 実績							新幹線駅の利便性向上を行うものであり、効果発現は開業日(令和6年3月16日)以降となるため、成果指標の数値目標の設定になじまない				
活動指標	駅周辺整備の完了 (目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・R4年度補助 芦原温泉駅 西口広場、東口交通広場 (脈わい空間建築工事、東口交通広場新設工事等) 越前たけふ駅 駅前広場(キャノピー整備工事等) 敦賀駅 緑化空間、駐車場(盛土工事等) ・R5年度補助 敦賀駅 緑化空間・駐車場、散策路連絡橋工事				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 3,216	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井城址活用推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[県都ランドデザイン]												
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]													
福井城址の歴史的価値に対する県民の理解を深め「県都のシンボル」として次世代に継承し、誇りと愛着を持ってもらうため気運の醸成を図る必要がある。						山里口御門(櫓内)の見学者数 平成30年度 52,180人、令和元年度 49,865人、令和2年度 20,805人、令和3年度 21,969人、令和4年度 37,403人、令和5年度 38,331人(令和6年1月末時点)													
[事業目的]																			
福井城址の歴史的価値に対する県民の理解を深め、誇りと愛着を持ってもらうため、気運の醸成を図るとともに、櫓等の復元に向けた検討を進める。																			
[事業内容]																			
<ul style="list-style-type: none"> ○復元に向けた気運醸成の取組み <ul style="list-style-type: none"> (1) 福井城連続セミナーの開催 (2) 小中学生を対象に福井城復元VRアプリ等を活用したまち歩き (3) 福井城址内の観光案内サインの設置 (4) ふるさと納税を活用した寄付金の募集 ○福井城址石垣ライトアップ整備 <ul style="list-style-type: none"> 城址の石垣南側、北側、東側のライトアップ整備 ○福井城址周辺土地整備活用 <ul style="list-style-type: none"> 城址の石垣とお堀を望む視点場として多目的に利用できる芝生広場等の整備 ○福井城復元アプリの機能強化 <ul style="list-style-type: none"> 福井城復元アプリの開発 ○福井城址城郭活用検討 <ul style="list-style-type: none"> 坤櫓等の復元イメージ図の作成 																			
[受益者] 福井城址周辺観光地への来訪者						[想定される受益者数] 20万人													
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井城址活用検討事業 (実績) 令和2年9月に「福井城址活用検討懇話会」を設置し、令和3年度までに計5回の懇話会を開催。当懇話会における議論の成果として、令和4年3月に福井城址活用に関する提言をとりまとめた。					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 まちなか歴史資源利活用事業 (役割分担) まちなか歴史資源利活用事業(県)											
市町との連携状況	—					他県の状況		—											

福井城址活用推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	199,455		67,192	56,000	(寄付金) 1,600	74,663		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） ふるさと納税寄付金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						33,113	199,455	東ノ丸広場の整備、石垣ライトアップの整備（南面、北面、東面）、福井城復元アプリの開発による増				
2月現計予算額の推移						369,261	176,828					
決算額の推移						368,825						
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	福井城址への来訪者数	(目標) 実績				(50,000) 37,403	(50,000)			ライトアップ整備等による城址の魅力向上により、来訪者数が増加すると想定。実績は翌年度4月に公表予定。		
活動指標	福井城セミナーの開催	(目標) 実績				(1) 3	(3) 3			年3回		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
新型コロナ5類移行前の4月および能登半島地震が発生した1月の福井城址への来訪者数が少なく、成果指標の目標に届かない見込みだが、徐々に回復してきている（令和5年度来訪者数 38,331人（令和6年1月末時点））。福井城に関する全3回のセミナーを開催し、活動指標は達成。					—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	199,455	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H29 年度	事業終了予定年度 (見直し年度) R5 年度		
事業実施方法	直営、補助									
補助率	定額									
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等					
[解決すべき問題・課題] 小松空港就航の国際線は新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込んでおり、感染状況を見極めながら、利用回復を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・ソウル便 R2.3.6から全便運休中(通常3往復/週) ・上海便 R2.3.3から全便運休中(通常6往復/週) ・台北便 エバー航空運航便 R2.3.12から全便運休中(通常5往復/週) タイガーエア台湾便 R2.3.1から全便運休中(通常2往復/週)				
[事業目的] 新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込んだ小松空港就航の国際線について、感染状況を見極めながら利用回復を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口回復を図る。										
[事業内容] 県民による国際線利用促進 ○各種広報媒体を利用した県民向け利用促進プロモーションの実施 WEB広告、電車中吊り広告、周知チラシ作成(旅行会社、市町等に配布) ○小松空港国際線誘致に向けた海外への職員派遣 定期便誘致のために、石川県とともに海外の政府機関や航空会社を訪問 ○小松空港国際定期便を利用する場合の国際交流費助成(補助金) 小松空港国際線を利用し、訪問先と国際交流事業を実施または福井県を訪問する団体受け入れ、国際交流事業を実施する福井県内の団体に対し助成 対象経費：国際交流事業の経費(交流会費、講師謝金、通訳費等) 補助額：1人当たり5千円(1団体100千円上限) 対象者：経済、文化、スポーツなどにより国際交流事業を実施する福井県内の団体(親善協会、スポーツ協会等)										
[受益者] 小松空港国際の利用者など						[想定される受益者数] 19万8千人				
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際線利用促進事業 (役割分担) 本事業においては、福井県民向けに特化した広報を行うほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。			
市町との連携状況	—					他県の状況	小松空港国際定期便利用国際交流事業促進助成金(石川県) 対象者：小松空港発着の億歳定期便により、韓国、中国または台湾を訪問したり、現地の団体を受け入れて国際交流事業を実施する石川県の団体 対象経費：国際交流事業の経費(交流会費、講師謝金、通訳費等) 補助額：1人当たり5千円(1団体100千円上限)			

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			7 年
補助率	定額														
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,197		598			599		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）							
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			2,114	2,142	1,429	1,197	1,197								
2月現計予算額の推移			2,114	0	0	0	1,197								
決算額の推移			1,501	0	0	0									
前年度までの 主な増減理由	令和3年度：新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、国際交流費助成（補助金）の金額を減額（△700千円）														
[成果指標等の推移]															
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	国際定期路線の開拓	(目標) 実績								国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。R2～R5まで新型コロナ感染拡大により国際線の運休が続いていたため、成果につながる活動そのものが制限されていた。					
活動指標	県内団体への補助	(目標) 実績	(10) 3	(10) 0	(3) 0	(3) 0	(3) 0						年3件		
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
令和5年度は、国際線の運行再開と合わせ、WEB広告により県民への広報を実施 県内団体への補助について、コロナ禍の中で国際線3路線（ソウル、上海、台北）すべて再開したのがR5.12であり、年度末までの補助申請に至らなかった				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	1,197				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

JRローカル線利用促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	<small>未来創造部新幹線・交通まちづくり局</small>	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助										
補助率	10/10										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 公共交通機関の利用者減による事業者の経営悪化が続く中、今後の人口減少やコロナ後の新しい生活様式を見据え、将来にわたって持続可能な交通ネットワークを形成する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] JR越美北線の乗車人数 H22 (ピーク時) 355,161人→R3 261,483人 (▲24.8%) 京福バス大野線の乗車人数 H25 (ピーク時) 255,482人→R3 119,431人 (▲53.3%)					
[事業目的] 相互に運行ダイヤを補完するJR越美北線と京福バス大野線において、双方の利用者増加につながる実証実験を支援する。											
[事業内容] JR越美北線定期券利用者が京福バス大野線を利用する場合の割引 (普通運賃との販売差額) を支援 補助内容: 対象区間において京福バス大野線を1回400円で乗車可能とし、普通運賃との差額を補助 補助率: 10/10 実証期間: 令和5年9月～令和6年2月 (6か月)											
[受益者] 越美北線、京福バス大野線の利用者						[想定される受益者数] 381千人 (R3年間利用者)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	沿線市町による広報を実施					他県の状況	—				

JRローカル線利用促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	交通まちづくり課	課長名	廣瀬 貴之		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 区分	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助												
補助率	10/10												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,361					4,361							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							2,887						
2月現計予算額の推移							2,887						
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	越美北線の定期乗車人数 (目標)						(244,578)			コロナ禍前(R1)の越美北線の定期乗車人数(年間)(単位：人) ※前年度実績は翌年度中に公表			
	実績												
活動指標	補助実績 (目標)						(372)			補助事業(京福バス大野線)の利用者数(単位：人) ※越美北線定期利用者(186人)の1割が週1回利用 利用者数はR6.2末現在			
	実績						397						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
令和5年10月より実証開始した結果、令和6年2月末時点で活動指標は達成 令和6年度からは京福バスの自主事業として継続予定						—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	4,361	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		